



苗木の育て方

このたびは、「苗木のホームステイ」にご応募いただき、ありがとうございます。
この「苗木のホームステイ」は、平成29年（2017年）春に富山県で開催される「第68回全国植樹祭」や関連イベント等で植樹する苗木を、豊かな自然を守り育てる県民の実践活動の一環として、県内のボランティア団体・企業等のみなさんの手で育てていただくものです。

約1～2年間にわたってご協力いただくこととなります。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

1. まずは「苗木の育成キット」の内容をご確認ください。

 お配りした「苗木の育成キット」の内容（30鉢分）です。

- 育苗ポット（直径12cm、高さ10cm）：30鉢
※ポットには昨年秋に集めたドングリ（コナラ）が植えてあります。
- 育苗トレイ（15鉢入り）（58×39.5×8.5cm）：2枚
- 肥料（緩効性）（※ H27 夏と H28 夏の2回分）：2袋（150g/袋）
- 木製PR看板（A4サイズ）：1枚
- 苗木の育て方（「苗木のホームステイ」のしおり）：1部
（※ このしおりです。）



2. 苗木を育てましょう

① ポットの置き場所を決めます。(基本的には屋外です。)

- 日当たりの良い場所。☀
- 風通しの良い場所。
- 水はけの良い場所。

⚠️ ポットの置き方にご注意ください。

① 土の上に直接置くと、地中に根を張り、他の場所に移動できなくなることがあります。

また、コンクリートの上に直接置くと、夏場に直射日光が当たる場所などでは、地熱で焼けてしまいます。

⇒ 棚やレンガ、ブロック、裏返した育苗箱の上に載せるなど、地面から浮かせた状態にしましょう。(写真のとおり。シートの上でも可。)

② 夏季は、乾燥を避けるために半日陰に置いてください。

③ 冬も屋外に置いて構いませんが、屋根から雪が落ちる軒下などは避けてください。



② 水やりをします。

苗木の成長に水は欠かせません。たっぷりと水をやります。

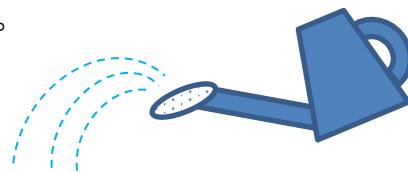
水やりのタイミングは、以下のとおりです。

- 土の表面が乾いている。
- 葉や新芽の先端がしおれている。

⚠️ 夏は高温・乾燥期なので、水やりが必要かどうか、毎日チェックしてください。

⚠️ 水のやりすぎは、根腐れの原因になります。土が乾かないうちに水をやることは避けましょう。

⚠️ 長期休暇(特に夏休みなど)の場合は、当番を決めておくなどして、水やりを忘れないようにしてください。



③ 肥料をやります。(施肥)

毎年夏(7月下旬)頃に、配付した肥料を1ポットあたり小さじ1杯(約5g)程度撒いてください。

⚠️ 肥料は2袋お渡ししています。1回につき1袋(150g)を使い切ります。(次の夏までに、残りの1袋を失くさないように気をつけてください。)



④ 育った苗木を回収します。

平成28年春以降、順次、苗木を回収する予定です。ご提供いただいた苗木は、「全国植樹祭」や関連イベント等の植樹計画に基づいて活用させていただきます。

⚠️ 日程及び回収方法等については、詳細が決まり次第ご連絡いたします。

3. 苗木の育成状況をお聞かせください。

みなさんが苗木を育てている様子を写真等でお寄せください。県では、ご提供いただいた写真をホームページに掲載するなどして、県民のみなさんに広くお知らせし、「全国植樹祭」に向けて機運を盛り上げていきます。ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

① 木製PR看板を設置して、育成状況等の写真を撮ります。

育成場所に木製PR看板を設置して、苗を育てている様子を撮影してください。

写真撮影のタイミング	写真撮影のポイント
<input type="checkbox"/> 水やりのとき	<input type="checkbox"/> 木製PR看板を入れて
<input type="checkbox"/> 肥料をやるとき	<input type="checkbox"/> 作業中の手元をアップで
<input type="checkbox"/> 節目（育成〇日目など）のとき	<input type="checkbox"/> 作業している人も一緒に
<input type="checkbox"/> 大きく成長したとき	<input type="checkbox"/> 大勢集まって、集合写真で
	<input type="checkbox"/> 苗木の大きさが分かるように
	<input type="checkbox"/> 育成場所が分かるように



② コメントを添えて所定の様式により、随時報告をお願いします。

所定の様式により、随時、電子メールでお送りください。電子メールが使用できない場合は、FAX・郵送・持参でも結構です。

コメント（例）

- 苗木の育成に対する意気込み
- 作業をしてみた感想
- 作業への参加人数
- 苗木の大きさや葉っぱの色など
- 育成の様子を見た人の反応
- 育成にあたっての工夫
- ほかの参加団体へのメッセージ など

報告先

〒930-0096 富山市舟橋北町 4-19（富山県森林水産会館6階）
とやまの森づくりサポートセンター
TEL 076-441-6196 FAX 076-432-7086
電子メール saposen@taff.or.jp

Q & A（よくある質問）

Q1. 苗木の種類は何ですか？

⇒ A1. コナラです。

コナラは県内の里山の代表的な樹種であり、かつては、薪や炭、しいたけの原木として人々に利用されてきました。秋には実（ドングリ）をつけます。

このポットに植えてある苗木は、去年の秋に、県内の花とみどりの少年団や森林ボランティア団体等のみなさんが、砺波市の頼成の森で拾ったドングリから芽が出たものです。

Q2. 苗木はどれぐらいの大きさになりますか。

⇒ A2. 2年間で、50～70cm前後の高さまで育ちます。

Q3. 冬に葉が落ちてしまったのですが、大丈夫でしょうか。

⇒ A3. 大丈夫です。枯れたわけではありません。春になれば、また葉が出てきます。

Q4. 虫が付いたり葉の色が変わったりしたら？

⇒ A4. 毛虫やイモムシが付いたら、取り除いてやってください。

他にも、葉の色が変わったり斑点（はんてん）が出たりすることがあります。あまり気にする必要はありませんが、気になるようでしたらご相談ください。



《 問い合わせ先 》

センター名	管轄市町村	所在地	電話番号
富山県庁森林政策課 全国植樹祭推進班	県内一円	富山市新総曲輪 1-7	(076) 444-4077
新川農林振興センター 森林整備課 林政・普及班	魚津市、滑川市 黒部市、入善町 朝日町	魚津市新宿 10-7	(0765) 22-9143
富山農林振興センター 森林整備課 林政・普及班	富山市、上市町 立山町、舟橋村	富山市舟橋北町 1-11	(076) 444-4476
高岡農林振興センター 森林整備課 林政・普及班	高岡市、氷見市 小矢部市、射水市	高岡市赤祖父 211	(0766) 26-8454
砺波農林振興センター 森林整備課 林政・普及班	砺波市、南砺市	砺波市幸町 1-7	(0763) 32-8131
とやまの森づくり サポートセンター	県内一円	富山市舟橋北町 4-19 (富山県森林水産会館6階)	(076) 441-6196

■ 苗木育成の大まかな流れ

	平成27年度												平成28年度												平成29年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
	春			夏			秋			冬			春			夏			秋			冬			春			
苗木の状態																												
作業	水やり	高温・乾燥に注意!												高温・乾燥に注意!														
	施肥				1回目									2回目														

- 苗木の成長に「水」は欠かせません。「水やり」は1年を通じて(冬の間も)必要な作業ですので、よろしくお願いいたします。
 - ✓ **土の表面が乾いたら、鉢の底から流れ出るほど“たっぷり”と水をやります。**
 - ⚠ 土の表面が乾く前に水を与えたり、水はけの悪いところに鉢を置いていたりすると、根腐れを起こしてしまいますので、注意してください。
 - ⚠ **夏は高温・乾燥期なので、毎日欠かさず土の表面をチェックしてください。**
- 育成期間中、苗木の状態や作業中の様子などを写真に撮ってご提供ください。
(ホームページに掲載するなどして、全国植樹祭のPR等に使用させていただきます。)

「苗木のホームステイ」のしおり

■ 育成状況のご報告について（ご協力のお願い）

いよいよ「苗木のホームステイ」の始まりです。
県では、苗木が育っていく様子をみなさんからお知らせいただき、ホームページに掲載するなどして県民のみなさんに広くお知らせし、「全国植樹祭」に向けて機運を盛り上げていきます。
記載例を参考に、別紙様式（「苗木のホームステイ」生育状況報告）により、写真やコメントをどしどしお寄せください。

1. 写真撮影のタイミング

- 水やりのとき
- 施肥をするとき
- 葉が落ちたとき
- 新芽が出たとき
- 節目のとき 等々
(植えてから〇ヶ月、毎月〇日ごろなど)
- 大きく成長したとき



2. 写真撮影のポイント

- 木製PR看板を入れて
- 作業中の手元をアップで
- 大勢集まって、集合写真で
- 苗木の高さがわかるように
(人と比べたり、物差しを添えたり)
- 育成場所がわかるように



3. コメントの例

- 苗木の育成に対する意気込み
- 作業をしてみたの感想
- 作業への参加人数
- 苗木の大きさや葉っぱの色など
- 育成の様子を見た人の反応
- 育成にあたっての工夫
- 他の参加団体へのメッセージ



4. 方法

所定の様式により、随時、電子メールでお送りください。

電子メールが使用できない場合は、ファックス・郵送・持参でも結構です。
(ただし、ファックスの場合は、コメントのみ受け付けます。)

5. 報告先

〒930-0096 富山市舟橋北町4-19（富山県森林水産会館6階）

TEL. 076-441-6196、FAX. 076-432-7086、**電子メール:saposen@taff.or.jp**

6. その他

お寄せいただいたコメント等について、電話等による内容の確認や、ホームページへの掲載等のための部分的な編集をさせていただく場合があります。



「苗木のホームステイ」 育成状況報告

平成 年 月 日

(第 回 レポート)

《 タイトル 》 (レポートの内容(作業や苗木の状況、感想など)を簡潔にご記入ください。)

《 写 真 》 (写真を3枚以上ご提供いただける場合は、裏面(別紙)をご利用ください。)

《 コメント 》 (写真の説明や作業の感想など、ご自由にご記入ください。)

《 報告者 》 (団体名は、ホームページ等に掲載します。)

団 体 名	
氏 名	
住 所・所在地	
電 話 番 号	
メールアドレス	

(裏面(別紙))

「苗木のホームステイ」育成状況報告

平成 年 月 日
(第 回 レポート)

《 写 真 》 (写真を3枚以上ご提供いただける場合は、この用紙をご利用ください。)

《 報告者 》 (団体名は、ホームページ等に掲載します。)

団 体 名	
氏 名	
住 所・所在地	
電 話 番 号	
メールアドレス	

(記載例)

「苗木のホームステイ」育成状況報告

平成 26 年 10 月 26 日

(第 1 回 レポート)

《 タイトル 》 (レポートの内容(作業や苗木の状況、感想など)を簡潔にご記入ください。)

頼成の森でドングリの鉢植えをしました！
これからがんばって育てます！

《 写 真 》 (写真を3枚以上ご提供いただける場合は、裏面(別紙)をご利用ください。)



ドングリあるかな？



鉢植えするぞ！

《 コメント 》 (写真の説明や作業の感想など、ご自由にご記入ください。)

150人の仲間達とドングリ拾いをしたあとで、鉢植えをしました。
来春、芽が出るのが楽しみです。

《 報告者 》 (団体名は、ホームページ等に掲載します。)

団 体 名	「全国植樹祭」を盛り上げる会
氏 名	植樹 祭太郎
住 所・所在地	富山市新総曲輪1-7
電 話 番 号	076-000-XXXX
メールアドレス	abcd@efg.or.jp

(記載例)
(裏面(別紙))

「苗木のホームステイ」育成状況報告

平成 26 年 10 月 26 日
(第 1 回 レポート)

《 写 真 》 (写真を3枚以上ご提供いただける場合は、この用紙をご利用ください。)



鉢植え作業中



大きく育ってね♪(^o^)

《 報告者 》 (団体名は、ホームページ等に掲載します。)

団 体 名	「全国植樹祭」を盛り上げる会
氏 名	植樹 祭太郎
住 所・所在地	富山市新総曲輪1-7
電 話 番 号	076-000-XXXX
メールアドレス	abcd@efg.or.jp